



[SPIRITUAL]  
**S**

[PERFORMER]  
**P**

**Keep it  
on the down low!!**

—並木敏成が語る  
あのルアーの真実—  
O.S.Pブレードジグ

O.S.Pが誇る  
三人のスペシャリストが“旬”を説く!  
**三人の賢者はこう釣る!!**  
早川純一 / 小田圭太 / 宮本洋平

O.S.Pクロニクル  
10年の歳月を経ても色褪せない魅力...  
**BLITZ**

もれなく  
**P R E S E N T**  
限定オリジナル  
**ステッカー**  
  
**BLITZ**  
10周年ファンフォトキャンペーン  
2014.7.1~開催 ※詳しくはWEBで  
[www.o-s-p.net/jp/](http://www.o-s-p.net/jp/)

**O.S.P**

**OUR**  
**STORY**



# KEEP IT ON THE DOWN!!

—並木敏成が語るあのルアーの真実— このパンフレットを手にした、あなただけが知ることができるあのルアーの真実と、本当の使い方。

これまでのブレードジグの常識を覆すO.S.Pブレードジグ

[テーマ]

# O.S.Pブレードジグ



## バスがルアーを見つけにくい要素が2つ以上複合するとき…

はじめに、ジグヘッドの前にブレードが装着されたルアーは、アメリカではブレードッドジグと呼ばれている。しかし日本やアメリカの一部では、製品名からチャータータイプと呼ぶ人もいるのだが…

この“ブレードッドジグ”カテゴリーにおいて、O.S.Pが与えた功績は、我ながら絶大だと思う。そのよさに気づいている、勘の鋭いアングラーも多いだろう。

この手のルアーのほぼすべてには、メタルブレードが装着されている。これらを使ってみた結果、バスに見切られて釣れないと感じたアングラーと、また逆に、激ハマリした経験を持つアングラーも、少なくはないはずだ。

これまでのメタルブレードのブレードッドジグカテゴリーにおいて、間違いなく言えるのは以下。

- ★マッディウォーター、もしくは普段はクリアなフィールドに、雨などの影響によって濁りが発生したとき。
- ★河川のように、常にカレントがある。
- ★バスとルアーとの間を遮断するカバーが豊富なフィールド（ウィードなど）。
- ★曇天や小雨などのローライト。

これら要素のうち、2つ以上が複合するとき、ブレードッドジグカテゴリーのルアーが極めて有効になる、独壇場になるケースが多い。

## スピナーベイトとブレードッドジグ

スピナーベイトと比較すると、ブレードッドジグカテゴリーのほうが、濁りの中においてハイアピールである。これは自分が使い込んできた経験から導き出した結論だ。



当初、ブレードッドジグカテゴリーのほうがスピナーベイトよりもボリュームが少ない分、バスに対して見切られにくいとか、クリアウォーターのようなバスがより見切りやすい状況下で食わせやすいと思っていた。ただしメタルブレードのブレードッドジグカテゴリーであれば、クリアウォーターではスピナーベイトのほうが釣れることが実は多い。

だが先述したとおり、2つ以上の条件が複合するとき、スピナーベイトの釣果を上回ることが多いのもまた、事実だ。

このように、使える条件は限られる、ある意味「クセがある」が、ハマれば劇的な釣果をもたらすブレードッドジグカテゴリーの常識を、O.S.Pブレードジグはがらりと一変させた。

## ブレードッドジグの常識を完全に覆した革新的機構

まずは最大の特徴でもある、透明ブレード。これまでのメタルブレードから樹脂製のブレードに替えたことでフラッシングを抑え、バスに与える違和感を排除。バスから見てみると、ジグヘッド+ワ

ームの組み合わせにしか、見えないのではないだろうか。そんな錯覚さえ抱かせる。これにより、先の「バスがルアーを見つけにくい4つの条件」のうち、2つ以上が揃わなくてもハマる存在となった。



そして、巻いてくると浮き上がりやすいといった構造上、シャロー限定と認識されてきたこのカテゴリーが、ミドルからディープレンジまで守備範囲を広げた。これはつまり、フォールアクションがスムーズになったことに起因する。

一般的なブレードッドジグカテゴリーのルアーはブレードとジグヘッドの結合部分が窮屈になっており、例えばブレードとジグヘッドが曲がった状態で着水すると、その姿勢のまま不自然に沈下してしまうこともある。スパイラルフォールし、ラインが絡まってしまうことだってあるだろう。だがO.S.Pブレードジグはブレードとジグヘッドの結合部分に余裕を持たせているため自由度が高く、ロックされる心配がない。それでいながらブレードの下面をストレートではなく「ハ」の字形状にしているため、ブレードとヘッドを接触させることでチドらせることもできる。



さらに下方重心に設計されたヘッド形状は浮き上がりを抑え、斜め下へ泳がせることも容易にした（一定層を引けるスピードよりもゆっくり引いたとき）。

## カウントダウンでレンジを的確に合わせる

今回、ロケのために訪れたりザーバーでは、ボトムまで10m以上ある橋脚の水面下3～5mレンジにサスペンドしているバスにO.S.Pブレードジグ5/8ozが非常に有効であった（5/8ozならば水深5m以上でもバイプレーションを感じるスピードで通すことが可能）。場所を休ませて入り直すたびにストライクが取れたのが、何よりの証拠だ（この動画は、O.S.Pウェブサイトで公開中）。



ここをディープレンジで攻めるとすると、助走が必要になる。狙った橋脚のずっと向こうにキャストすることが要求され、かつ、巻くと潜る、ゆっくり巻くと浮いてくるという中で、的確なレンジコントロールも求められる。狙いのレンジに合った潜行深度のクランクを選ぶのもひとつだが、その都度、結び替えるという煩わしさも出てくる。

しかしO.S.Pブレードジグであれば、キャストしてからのカウントダウンで狙ったレンジに素早く落とすことができる。もしくはゆっくりめに巻いて狙いのレンジまで沈め、そこから、一定の層をキープできるリトリブスピードにスイッチすればいい。



また、ボディが生み出す波動もソフトなため、クランクベイト以上に同スポットからバスを抜き出すことも可能だ。

## O.S.Pブレードジグを用いた世界レベルの食わせのテク



まずは橋脚での使い方について解説したが、例えばバンクの角度に沿って、もしくは水中に向かって斜めに入るレイダウンなどの攻略にも、O.S.Pブレードジグが有効だ。バスのポジションが浅い側なのか、それとも深いほうにいるのかわからないとき、まずはその付け根にキャストし、バンクやレイダウンの角度と並行に落としてくる。

こうした使い方はスピナーベイトやミドストでも有効なのだが、O.S.Pブレードジグはミドストと比較すると、よりアピールが強いものと位置づけられる。自発的なハイピッチバイプレーションを生み、ミドストのように意図的にラインを揺らす必要がないため、その存在をバスに知らしめてしまう心配が少ない。

また、ミドストよりも太いラインで臨めるため、カバーまわりでのビッグバスのストライクにも安心してファイトできる。クランクベイトのようなハイピッチバイプレーションを生みながらも、ジグヘッドのようなソフトな波動とナチュラルなシルエットを生む。ジグヘッドとクランクベイトの融合、といえるルアーである。

そんなO.S.Pブレードジグだが、ここぞというところを通過してもバイトが得られないときは、ロッドを数十センチ、跳ね上げてみるといい。これでスイッチを入れ、バイトを誘発するのだ。一定速度でのリトリブの中で、突発的にアクションを変える。これが非常に効果的。ウィードがあればそこに引っ掛けて、外した直後のバイトも多い。



また、一定の速度で巻いてきてルアーが自分に近づいてきたとき、つまり浮上しかけたときのバイトも多いので要注意。ルアーの軌道が変わる瞬間に食ってくるが多々あるので、最後まで決して気を抜かないように！

## 2タイプのフッキングをバイトの違いで使い分け

この手のルアーでフッキングについて語ると、強めの即アワセと巻きアワセの2つを使い分けるといい。

バスがしっかりとルアーを口にし、こちらに向かって走ってきている、もしくは勢いあまってラインテンションを感じなくなる。そんな「ふっ」と軽くなるようなバイトに対しては前者の即アワセ。



巻きアワセについては、「コツコツ」というアタリが出たり、トレーラーワームのテールだけを啜えているようなバイトのときは、バスの重みを感じることができると一定速度で巻き続ける。重みを感じたら巻きながら聞きアワセでしっかりノセる。これがフッキングの注意点だ。

## さまざまなトレーラーを適材適所で使い分ける

今回のリザーバーではワカサギについているバスをターゲットに

釣っていったわけだが、そのときにメインで使用したのがアクショントレーラーだった。

これはワカサギのような繊細なベイトフィッシュ（ときには4本のテールの効果でその群れ）に見え、ボトムでのリフト&フォールで使えば甲殻類（エビやザリガニ）の見た目とアクションを模することもできる。細身ゆえスムーズに潜行させられるため、ディープの攻略も容易。巻いてよし、止めてもよし。タフなレイク、タフな状況でこそ、自分はこのトレーラーを使っている。耐久性が高いのもいいね。



ドライブスティックも、O.S.Pブレードジグとの相性は抜群だ。ノーマルモデルを使うこともあるが、耐久性を求めて、いまはスペック2をチョイスすることのほうが多くなっている。サイズは3.5in、4.5in、6inとあるのだが、小さいほうがチドリやすく、大きくなるとチドリにくい（が、あまりチドらせすぎると釣れなくなるので注意）。この点を踏まえた使い分けだけでなく、例えばベイトフィッシュの大きさや、水の色（マッディほど大きく）も考慮して、各サイズを選ぶようにしている。

ドライブシャッド4.5inのようなシャッドテール系は、ハイアピールかつ同じレンジをスローに引きたいときに有効なトレーラーだ。先日訪れたアメリカのガンターズビルレイクでも、このセッティングは最強だった。特にドライブシャッドはやわらかい素材ゆえ、よりスローに巻いてもしっかりアピールしてくれるのだが、ズレやすいという一面も。これを防ぐために、トレーラーロック（FINA）を使って、しっかりガードすることをおすすめする（ドライブスティックも同様）。



最後は、ドライブクロー&ドライブシュリンプ。アメリカのシャローレイクでも一部、メタルブレードのブレードッドジグカテゴリーを使って実践されているテクニックなのが、ラバージグのリフト&フォールと同じ動きで誘う、というもの。これもO.S.Pブレードジグならば、シャローのみならずディープでも行える。リフト時に明確なバイプレーションを生み、フォール時にはラバージグと同じように落ちる。この釣り方による効果はすでに出ており、アクショントレーラーに加え、ドライブクロー4in、5inやドライブシュリンプ4.8in、6inなどでハマることが多い。

※

あらゆる使い方ができるだけでなく、さまざまな状況下でそのポテンシャルを発揮するO.S.Pブレードジグ。勘の鋭いアングラーなら、一度使えばその能力の高さに気づいてもらえるだろう。

## 参考動画

- ブレードジグ5/8ozの有効性を琵琶湖プロガイド森田哲広が徹底解説!! <http://youtu.be/e7wTT2ZDEiw>
- 並木敏成による初夏の津久井湖攻略! ブレードジグ3/8ozが炸裂。 <http://youtu.be/SpEdHlrBeXw>
- 並木敏成による「O.S.P BLADE JIG」の解説&実釣映像!! <http://youtu.be/h1G4sCNQ89s>



# O.S.P クロニクル

開発担当が語る、あのルアーの秘密。



**BLITZ**  
Produced by Technoart (Japan)

発売から10年の月日が経過してもなお、そのポテンシャルは色褪せない。ここまでみなさまに愛され続けてきたブリッツは、こうして生まれた……

## ルアー作りのO.S.P.的方程式が間違っていなかったことを再認識

流行り廃りが激しいバスフィッシング用のルアーにおいて、10年もの間、多くのアングラーに支持されてきたルアーは、決して多くはないだろう。それは弊社が目指し、日々努力していることであり、ブリッツはその結晶のひとつ。

ルアーを開発するにあたって、まずはターゲットを決める。これまでそうしてきたように、ブリッツも、作るからにはクラスナンバーワンを目指す、という信念のもとで開発に着手。このとき、照準を合わせたのがアメリカ製のシャロークランクだった。重心移動機構を搭載していないプラ製のもの。と同時に、バルサに代表されるウッドクランクも、ターゲットとして見据えた。

また開発に着手した当時、弊社の代表である並木敏成がアメリカのトーナメントに参戦していたことも、それらをターゲットにした理由であった。

通常、ひとつのプラグを作るにあたり、その目標となるターゲットを超えるものができるまで、100～200のプロトタイプをチェックするのが常である。しかしブリッツに関して言うと、その常識をはるかに

しのぐ5～6タイプで「これは超えたな」という感触を得ることができた。

その後、あとから発売されるクランクに追い抜かれることがないようにセッティングを詰めていくと、結果的にプロトの数は100を超えた。

なぜ、驚異的に少ないタイプ数で、クラスナンバーワンの手応えを得ることができたのか。それは、すでにHPFクランクやコバジン、そしてダイバジンに採用されていた「ハニカムスーパーHPボディ (PAT.)」と「極薄HPスラッシュビル」の功績があまりにも大きかったから。これらがなければ、一般的に言われる「当たりのバルサクランク」を超えることは、なかなかできなかっただろう。

ボディ形状、アイの位置、リップの位置と角度、そしてオモリの位置などが決まった段階で、細かい設定を煮詰めていくための100～200タイプが、わずかに5タイプ目、6タイプ目にして「クラスナンバーワン」の手応えを得た。もちろんそれは自分たちの基準。使う人によって、もしくは使う場所によってそれぞれ基準があるのは当たり

前のこと。O.S.P.の基準という観点で「超えた」のであった。

あとはひたすらテストを繰り返し、ひとつ修整すれば次の課題が見えてくる。それを克服すると、また次……という気の遠くなる作業を続け、これ以上やることなくなくなったとき（問題点が見えなくなったとき）、はじめてルアーとして完成する。

頭で考えて何とかなるものではない。それでは机上の空論に過ぎない。実際にフィールドで使い、感じたところを修整。試作を重ねに重ね、ようやく形になる。

開発スタッフは語る。「ルアーはお客さんに使ってもらって、はじめて評価が与えられます。でもそれはすぐにもらえるものではありません。半年、もしくは1年が経過して、はじめて評価をいただける。ブリッツは発売から10年。今も高い評価をいただいています。時間が経てば経つほど、間違っていなかったんだな、と実感できます」

本物を知る皆様に愛され続けて10年。ブリッツに、いやO.S.P.の辞書に「色褪せる」という文字は、存在しない。

## 2014年8月の新商品情報

# THE FLASH NEWS!!

週末のハイブレッシャーレイク。先行者のあとを攻めるおっっぱり。クリアレイクのストラクチャーまわり……避けては通れないタフな条件下においても、クランクベイトの必要性は高い。加えて、高い性能を持ち合わせていれば、スローな釣りに反応しない狡猾なビッグバスをバイトに持ち込む破壊力も生む。水深0.3～1.0mという、これまでのO.S.P.クランクにはないレンジを準備範囲とし、ボトムやストラクチャーへのコンタクトはもちろん中層のただ巻きも得意とする。すべては、釣り勝つために……



ゴーストアユG01



アメリカンサンフィッシュH03※



黒金オレンジペリーH04※



マットチャートブルーバックM07※



アメザリZ08※



アイスシャッドH09※



マットタイガーM14※



リアルギルVer.2 RP16



チャートブラックバックP20※



ジュードシャッドPP21



銀鱗H23※



インバクトタイムチャートP35※



GFスプーンレッドPGF48



ハニーミラーゴールドHH53



ゴーストハニーブルーG62



ハニーブルーM62



潤るワカサギS76



### タイニーブリッツ

Length 46mm  
Weight 6.5g  
Type Floating-Silent  
最大深度 1.0m  
(有効レンジ0.3～1.0m)  
Price 1,400円(税抜き)

極限のハイブレッシャーを克服する「今を釣る」ためのクランクベイトが誕生

※印は9月上旬発売予定。

早川純一 @千葉県・利根川

O.S.P.バズ02BEAT  
(ディファインブラック)

存在感と効率のよさが不可欠の理由



シェード、カレント、ディーブウォーターと夏のバスフィッシングにおける代名詞的な三大ファクターが挙げられますが、常にカレントが発生している川というフィールドは、夏バスにとって比較的過ごしやすい環境が整っています。中でも他よりも強くカレントが発生しているスポットに、シェードや別の川の流れ込みが入っていたり、もちろんベイトフィッシュの存在など、付加価値が多ければ可能性はさらに高まります。

しかし、バスにとっていい環境ということは、あまりストラクチャーに固執せずポジションも不特定になりがちなので、流芯など広範囲を効率よくサーチでき、カレントなどでルアーの存在が消されず、遠くのバスにも気付かせられるアピール力が要求されます。

かつ、一定のスピードで連続的に誘えることと、見失うことがほとんどなくバイトに持ち込める点においても、02ビートは夏の川攻略のマストアイテム！

カラーはディファインブラックがフェイバリットです。



小田圭太 @大阪府・淀川

ゼロワンジグ1/2oz(ブラウン/パープル)+  
ドライブクロー4インチ(スカッパノン)

カバーの奥の奥にねじ込める!!



8月の河川攻略に欠かせないのが、ゼロワンジグ！夏の川バスは流れ+シェードが大好きなので、スキッピングしやすく、カバーへのスタック率が極めて低い、ゼロワンジグ+ドライブクローのコンビは、欠かせません！

ボクのフェイバリットは、昔ながらのファインラバーを搭載した、F05ブラウン/パープル。ファインラバーならではの繊細なフレア感が、ビッグバスを狂わせてくれます。メインに使うウエイトは1/2ozで、トレーラーはドライブクロー4inがベスト！このコンビなら7ftヘビーアクションのロッドでも、正確にカバーの奥へと入れ込むことが可能です。

これをカバーの奥の奥へスキッピングでねじ込み、フォーリングバイトを狙います。バスが浮き気味の場合は、枝などにラインをワザと引っ掛け、中層シェイクで誘ってあげることも非常に有効です。ぜひ、試してみてください。



宮本洋平 @岡山県・高梁川

ダイバジンヘビーヒッター  
(マットチャートブルーバック)

水面を割らない最大限の速度がキモ



8月の高梁川といえば、朝マズメ・タマズメ時のシャローに尽きます。今年は特にウィードが少ないので、地形による変化にビッグバスがつきやすいと思います。最上流、水菱プラスチック前の通称“カニ網”、中洲まわり、そして橋脚まわりなどで、一番カレントが効いているところが狙い目です。

高梁川のシャローエリア(水深0~2m)は広大であるため、そこを手返しよく探ることができるダイバジンヘビーヒッターがおすすめです。巻き方はルアーが水面に出ない程度で、可能な限りの速巻きです。ルアーが自分に近づくにしたがってロッドを徐々に立てるにより、ピックアップ寸前まできれいに水面を引いていくことができます。

カラーはマットチャートブルーバックなどの、チャート系がおすすめ。バスのサイズが小さくてノリきらないときはダイバジン(ノーマル)やバジnkランクヘビーヒッターにローテーションしてみてください。



「今」最も効果的な釣り。

あなたなら、どうする？ どうしてる？

釣りに行くための〇〇

全国のお父さんアングラー様。釣りに行きたいけども、自由に行くこと、**かないませんよね？それは釣り業界人として同じ。**だから釣りに行く前には必ず、**こんなこと**、しているのです……

朝練で釣りしたい欲を満たし……

スタッフASOの場合

釣欲を満たすための行動が「朝練」です。どうしてもこの日は家族との時間で、丸1日釣りなんてとんでもない。そんなときに発動するスキルです。季節にもよりますが朝の4時~7時半の3時間半のみ。その日の昼食後は軽く幽体離脱です。でも家族のために、目ん玉ひんむいて起きます。

もちろん朝練は投げるだけでなく、ちゃんと釣りますよ、トーナメントを想定しながら。釣りはスポーツです。

もうひとつは「家事を率先してやる」スキルです。釣りにハマっていた学生時代は、釣りばかり。サークルは釣り研究同好会、バイトはプロショップ。しかし今や家庭持ちの会社員とも

なると話は別ですね。釣り具メーカー勤務ですが…料理が上手くない私ができることはとにかく洗濯物。これを、普段以上に進んで行きます。帰宅したら夜な夜な静かに……こうすることで、認められているかどうかはさておきまして、釣りに行くことへの後ろめたさがまずなくなります。

ただし、やり過ぎるとそれが「当たり前」になるので要注意ですw

ともあれ、最終的には周囲の協力&理解なくしては、自由に行くこともなかなか難しいですし、そっぽを向かれても仕方のないので、夢中もいいですけどバランスが大切。行けるだけありがたいと思ってマス。



# O.S.P's Go-Getter!!

file.01

O.S.Pが誇る凄腕プロスタッフが解説する  
“絶対釣果”を確約するルアーの使い方。  
これさえ読めば、今日からアナタもGo-Getter!!



の  
使い方

## …ベントミノーとは…

これまでにない究極のナチュラルダートアクションでバスを誘う、ベントミノーの曲がったボディが特徴のルアー。泳ぐチカラを失って水面に横たわる小魚を、超リアルに再現した上下左右、そして斜めという予測不能の3Dダートアクションはもちろん、止めて置いておくだけでもバスを反応させる。

オリキンがベントミノーで用いるアクションは全部で4つ。それぞれをバスの状態や反応を見ながら使い分けていくことが、人と差がつく釣果を得るためのコツ。

### 1 水面連続トウイッチ

ポーズやステイを入れずに、連続してトウイッチを入れるアクション。ボイルしているときは当然のことながら、広いエリアを釣るときにも有効。ただしロッドアクションが激しすぎると、不自然な動きになってしまうので注意。

### 2 トウイッチ&ステイ

2~3回アクションを入れて、1秒のステイ。ストラクチャーのそばを通すとき、岩盤やオーバークラフの下など、なるべく狭いスポットでバスに気づかせて、もしくは浮かせて食わせる場合はこれ。

### ただ巻き

オーソドックスなリップ付きのミノーでは出せないようなヨタヨタした動きが特徴。ルアーを一回転させないように、ティップを軽くゆすりながらリトリブスピードをキープすることがこのアクションでの最大のキモ。

…アクションについて…

### 3 デッドスティッキング

水面に長い時間、何もせずステイさせる。バスが浮いている小魚を食べている、もしくはそれを意識している状況下で有効。ときおりロッドを動かして、ルアーをヒクヒクと動かすようなアクションも効果的。ここぞというときに、サカナを呼んで食わせる技。

## …出番となるシチュエーション…

バスがフィーディングしている、もしくはボイルしているときこそ、ベントミノーの出番。特にハイシーズンであれば長い間、もしくは狭い場所でボイルしているバスは特定のベイトを捕食していることも多く、ここではその捕食対象に、よりマッチしたボリュームのルアーを使う必要がある。つまり、こういうときこそ、ベントミノーの独壇場となる。



## …ワンモアフィッシュを可能にするために…



## …サイズの使い分け…



ベントミノーには76、86、106そして130の4サイズがラインナップされている。上記したように、ボイルしているシーンでは、追われているベイトの大きさにマッチしたサイズをチョイス。流れが複雑なエリア、水が濁っているところ、そしてバスが広範囲に散っているような状況では、アピール力を求めて使用するサイズを大きくするとい。

ボイルは時間が経過すると、それに比例してバイトの確率は下がってしまう。したがってボイトでの釣りの場合、とっさのボイルに対応できるように、すぐに手にとって投げられる位置にベントミノーをセットしたタックルを用意しておくこと。



セットで1名様!!

O.S.P  
スウェットメッシュ  
キャップ



ハンドタオル & フェイスタオル (非売品)

ドライブシャツ (グリーンパンキンベーパー)

応募方法 希望者はメールにて、件名「O.S.P JOURNAL プレゼント係」とし、以下の項目にお答えください。

- このパンフレットをどちらのお店で手にしましたか
- このパンフレットの率直な感想
- このパンフレットに求める情報
- 釣り歴とホームグラウンド
- O.S.Pで好きなルアー

以上5点の回答に加え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、ご応募ください。締切は2014年8月31日。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

info@o-s-p.net

個人情報について ご提供いただきました個人情報は厳重に管理し、賞品の抽選、発送および当選者への連絡に使用します。また、提供者の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)

毎日更新! O.S.Pのすべてがわかる!!  
O.S.P公式ホームページ

www.o-s-p.net

O.S.P Lurefishing Facebookページ  
http://on.fb.me/1ivloty

並木敏成の知られざる素顔が明らかに…!?  
並木敏成オフィシャルサイト「THIS IS T.NAMIKI」  
http://t-namiki.net/

並木敏成Official Site「THIS IS T.namiki」  
更新情報 Facebookページ

http://on.fb.me/1iE8UiY